

池田勉 いけだ つとむ 國文學者。明治四十二年十一月十五日兵庫縣生乳（一九〇八—）。筆名い、安田新太郎、池田齊斐。昭和九年廣島文理科大学卒業。學友の清水文雄、達田善助、栗山理一と研究紀要『國文學論』（國文學誌論編輯所編、第四輯「日本作家論」昭和十一年七月）『春陽堂書店』を刊行し、十三年には前記同人と雜誌『文藝文化』を創刊、所謂「日本浪漫派運動」の一翼を擔つた。成城大學教授。

著書い、『三賢のまがひ』（昭和十五年五月十七日予文書房「文藝文化叢書」）、『人麿と赤人』（校註、昭和十七年八月十二日春陽堂書店「新文庫」）、『國學のしるぎ』（校註、昭和十九年九月二十日春陽堂「新文庫」）、『都の文學』（昭和十九年七月二十五日七文書院）、『佐藤春夫』（昭和二十二年八月十五日成城國文學會「文藝讀本」）、『佐藤春夫』（成城國文學會編、昭和二十六年四月二十五日市ヶ谷出版社「文藝讀本」）等。

